

第7回ワクワクながつかとうべえ祭り 学生実行委員の声



私は実行委員としてとうべえ祭りに参加しましたが、最初は不安で本当にできるのかと思っていました。しかし、地域の方たちや大学の友達と協力して無事成功することができたので、やって良かったなと思いました。

今回のボランティアを機にこれからも色々なことにチャレンジしていきたいです。貴重な経験をありがとうございました。

石田 咲乃 さん(コミュニティ生活学科2年/広島県立廿日市西高等学校出身)

私は昨年ネイルアート体験担当としてとうべえ祭りに参加しましたが、今年は実行委員という大きな役割をしました。去年は雨でしたが、今年は天気にも恵まれて大勢の方が集まりました。いつもは静かな長束ですが、多くの方で賑わい活気づいていました。

私が特に印象に残っているのは「絵本のリサイクル」です。絵本が無料でもらえるということで大人から子どもまでとても好評でした。喜んで絵本を持って帰っているのを見て、準備をしてきて良かったなと思いました。来年も「絵本のリサイクル」を続けてほしいと思います。

とうべえ祭りを盛り上げ、成功させることができたのは地域の方々の協力のお陰です。長束は地域の方に支えられている良い所であるのを改めて実感しました。

奥井 さとみ さん(コミュニティ生活学科2年/島根県立大東高等学校出身)

先輩方や地域の方々が築いてきたとうべえ祭りを私も盛り上げたいと思い、実行委員をさせていただきました。地域の方と会議を重ね、少しでもいいお祭りになるよう取り組みました。

祭り当日は数年ぶりに晴れ、幅広い年代の方々が足を運んでくださり、とても賑わったので、少しは地域に貢献できたかなと思いました。また、実行委員を通して地域のお店の方と関わり、顔を覚えていただけたのが嬉しかったです。

大変だけどやりがいがあり、たくさんの方と繋がれたとうべえ祭りがこの先も続いていき、長束がもっと笑顔でいっぱいになったらいいなと思いました。

富田 量子 さん(コミュニティ生活学科2年/島根県・出雲北陵高等学校出身)

私は毎日のように通っている長束の町を盛り上げたいと思い、実行委員に参加しました。地域の方々との会議では、様々な意見交換がされており、祭りを開催する大変さを感じました。

当日は、音楽学科学生によるライブの手伝いと「絵本のリサイクル」で地域の方々と関わることができました。ライブの時や、絵本を選ぶ時に子どもたちや地域の方々がとても楽しそうだったので、とても嬉しかったです。

普段の生活では地域の方々とのコミュニケーションを取ることがないのでいい経験になりました。卒業後は、私の地元でも地域の方々とのコミュニケーションを取っていきたいと思いました。

中倉 あやめ さん(コミュニティ生活学科2年/広島県立三原高等学校出身)

私は大学がある長束の町を活性化させたいと思い、とうべえ祭りの実行委員になりました。祭りの準備のため商店街や近隣の小学校などへチラシを配ったり協力をお願いしに行った際に応援の声をいただき、いい祭りになりたいと思いました。

祭り当日は司会や絵本のリサイクルを担当しました。天候にも恵まれより多くの方が来られてとても嬉しかったし、地域の方とも会話ができて楽しかったです。

実行委員を務めたことをきっかけに長束のことを知ることができ、少しでも地域の活性化に貢献できたと思います。

中田 涼葉 さん(コミュニティ生活学科2年/広島県立廿日市西高等学校出身)



大好評の絵本のリサイクル